

爽・創・荘

学校だより

令和5年7月3日

加古川市立両荘中学校

爽やかであること、創造すること、成長することを願って、「爽（そう）・創（そう）・荘（そう）」と名付けました

どうして、今、SDGs？

先日、なかよし学園の中村雄一校長、北川夏実チーフにご来校いただき、「愛デアで夢が実現する世界を ～両荘×なかよし 難民キャンププロジェクト～」と題して、SDGs 講演会が開催されました。

このSDGs 講演会ですが、なぜ、今、「SDGs」が大切なのでしょうか。

「SDGs」は、2015年の国連サミットですべての加盟国が合意した「持続可能な開発目標」であり、英語では「Sustainable Development Goals」といい、「SDGs」はその頭文字と最後の複数形を表すsで略されています。2030年までの達成をめざし、「地球上の誰一人取り残さない」ことを誓って17の目標が設定されています。



「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」「ジェンダー平等を実現しよう」「人や国の不平等をなくそう」など人権にかかわる内容や「気候変動に具体的な対策を」など環境問題にまで幅広い目標となっています。「持続可能」ということばから気が付いた人もいると思いますが、これらの問題の解決は、喫緊の課題であり、まさしく待ったなし。そして、これらの課題は、決して、今、生きている私たちだけのためではありません。私たちの子ども、その子ども、そのまた子ども、その子どもの子ども・・・と、人類がこの地球で

人間らしく生活し続けるためであるという点が最も大切なところでは。

ということは、今こそ、生きているすべての人が主体となって、責任を負っていかなくてはなりません。「自分事と考えて行動する」ことが、SDGsで求められる考えです。

ここで、講演会のタイトルをもう一度、確認。「愛デアで夢が実現する世界を ～両荘×なかよし 難民キャンププロジェクト～」。“ぬくもりのある心で、創意工夫すれば自分にもできることがあるのでは”とのなかよし学園からのメッセージが見えてきて、心に響きます。

トピック 両荘中学校 から 両荘みらい学園へ

生徒会が考えた文言で横断幕を検討しています。閉校にかける思いをメッセージに込めてくれました。現在のところ、案ですが、こんな感じになりそうです。

9000



6月のホームページ「両荘エトセトラ」より

特別支援学級のお友達がくれました 6月19日



こだま学級とのぞみ学級の生徒たちが、きれいなあじさいの作品を校長室に届けてくれました。あじさいらしい様々な色でぬってあり、まさに今の季節にぴったり。校長室を彩ってくれています。

ちなみに、透明の板は、コロナ禍で使っていた飛沫防止パネルです。このような有効活用にも頭がさがります。

両荘みらい学園に向け 小中交流会をしました 6月19日

生徒会主催で、小学5年・6年と中学生との交流を行いました。楽しい時間を一緒に過ごすことで、一体感を期待するねらいもありますが、中学校への心のハードルを少しでも下げるねらいもあります。

考えたプログラムの最初は、小グループの円陣になって自己紹介。恥ずかしそうにしていたのですが、一人ずつ拍手をもらいながら進んでいきました。続いて、ジェスチャー伝言ゲーム。中学生が小学生に、小学生が中学生に、ボディランゲージだけで伝える姿は、ほほえましい限りです。ほかには、〇



×クイズなどでも楽しみ、全5学年で普段味わえない経験ができました。